

平成 27 年 9 月 8 日

松阪記者クラブ 様、同クラブ加入各社 様

資料提供 伊勢志摩サミット「配偶者プログラム コンテンツ提案」
について

送信者：明和町総務課 西田、松本

電 話：0596-52-7111（総務課）

ファクス：0596-52-7133（庁舎 2 階）

1 提供事項：三重県伊勢志摩サミット推進局に、「配偶者プログラム コンテンツ提案シート」を別紙のとおり提出いたしました。

2 内 容：三重県伊勢志摩サミット推進局から、伊勢志摩サミットにおける「配偶者プログラム コンテンツ提案」について照会がありました。

これを受けて明和町では、各国首脳配偶者の皆様方に日本遺産認定を受けた「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」を堪能していただく機会を提供したいという思いから、別紙のとおり提案書を提出いたしました。

3 問い合わせ先

明和町総務課 西田、松本

電話 0596-52-7111

配偶者プログラム コンテンツ提案シート

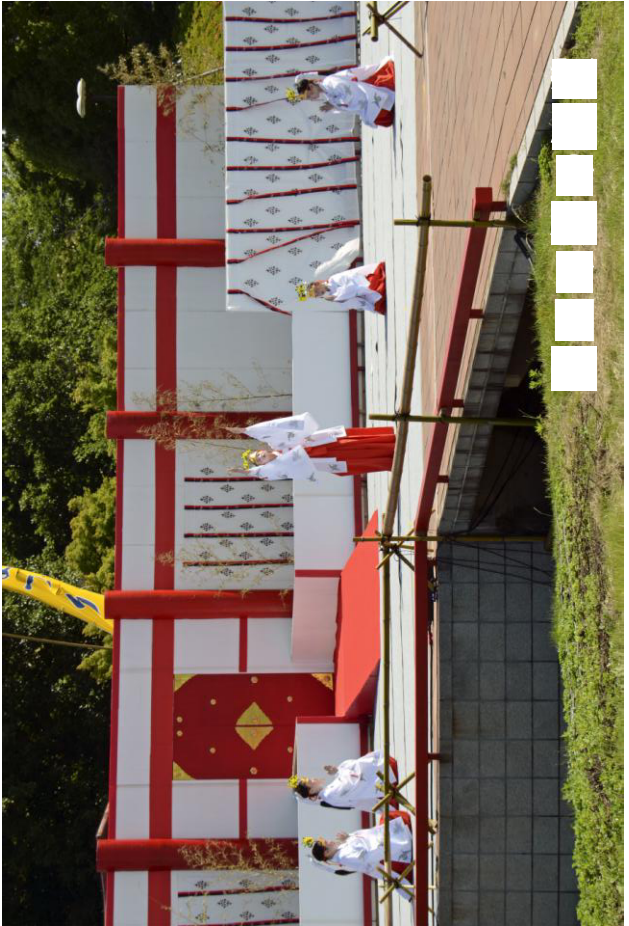
市町名	明和町		
所属名	総務課	担当者名	西田 一成
TEL	0596-52-7111	FAX	0596-52-7133
メールアドレス			

コンテンツ名	日本遺産 平安体験～皇女斎王の世界
所要時間	約1時間
コンテンツの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・十二単、直衣試着体験～復元建物内 (配偶者の皆さん全てに試着体験していただきます) ・平安の遊び体験(貝合わせ、盤すごろく等) ～復元建物内 ・平安茶会 ～正殿 ・斎王の舞鑑賞 ～西脇殿 ・斎王群行再現 ～復元道路・復元建物前の庭 (都から斎宮までの葱花輦に乗って旅した斎王の群行を再現します。)
提案理由	<p>天皇に代わり伊勢神宮の天照大神に使え、日本の平安を祈る日々を送った皇族女性「斎王」。斎王をはじめ女性が中心となって輝いていた斎宮。今秋復元した「さいくう平安の杜」のおもてなしの建物において、斎王たちが過ごした雅な世界を堪能していただく。</p>
必要面積、参加人数、必要機材等	<p>さいくう平安の杜の復元建物及び庭にて実施 参加者 約50人 十二単ほか平安装束 葱花輦ほか群行備品 その他体験道具</p>
その他参考情報	<p>必要な装束、備品、道具は、すべて町で調達できる用意があります。</p>

※その他、参考資料(パンフレット等)があれば添付してください。



平安装束(十二単・直衣)の試着体験イメージ



さいくう平安の杜

